

大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果

課題番号	STSC19004
研究開発課題名:	新しい胆嚢炎治療を実現する器具販売事業のビジネスモデル検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	東北大学 大学院工学研究科 准教授 宮本 浩一郎

1. SCORE での活動目的

胆嚢炎は国内で年間 10 万件の症例がある一般的な消化器疾患である。胆嚢炎は外科手術で胆嚢を摘出すれば完治する。しかしながら手術できない臨床例も多数あり、その中でも緊急性の高い症例においては、強い痛みと長期の拘束を伴う治療を選択せざるを得ないことが臨床における課題となってきた。申請者らはそのようなケースでも穏和で迅速な処置を実現する基盤技術を開発している。本プログラムでは、新しい治療実現の鍵となる器具をさらに改良して市場価値を向上させると共に、どのような形で販売するか、実際の需要はあるか等のビジネスモデルについて事業化検証を行った。

2. 総合所見

明確なニーズに基づいた技術開発を着実に進めている点と、海外も含め病院や臨床医に対し積極的にヒアリングを行うことにより、製品の価値を明確化した点を高く評価する。

熱意のあるチームができており、海外市場での展開も見込まれる。今後の進展を期待する。

以上